

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月30日 (20:00~20:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎
村上・藤本・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	人	1人	11人

前回の改善計画	引き続き、本人家族へ「何でも相談してくださいね」等の次に繋げる言葉かけを心掛ける。本人家族の不安な気持ちや悩み、必要としていることなどを少しでも聞けるような関係作りに配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時や訪問時、また家族の送迎時には、家族と会話をし本人の自宅での様子やご家族の不安など聞くように心掛けた。またその情報をミーティング等で共有し、話し合い支援に向けて検討した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	3			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	9	2			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	9	2			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	3			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時や、お迎え時に家族と話し、本人の様子や家族の要望を聞いている。またそれをミーティングノートやミーティングにて共有し必要な支援や対策を話し合い検討している。新規利用者も情報共有し訪問時やお迎え時に安心できる声掛けを行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月30日 (20:00~20:30)
------------------	-----	----------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎 村上・藤本・岩崎
---------------------------	------	-------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	3 人	0人	2人	11 人

前回の改善計画	アセスメントを行い、3か月に1回モニタリングをして本人も目標やそれに対しての支援や関りを知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	生活記録に本人の変化や話した内容、思いなど記録、また、事務所の壁に一人ひとりの気付きや本人の想いを貼りだし、職員で共有している。しかし3か月に1回と言うペースでのモニタリングができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	8	3			11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	5			11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	5	1		11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	3			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人との日頃の会話で何がしたいか、どのように過ごしたいか聞いている。また、目標をもって日頃の体操や健康管理をしている。壁に一人ひとりの気付きを貼りだすことで本人の想いやしたい事や出来ないことなど分かるようになった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
全体的に関わっているが個別では出来ている利用者として出来ていない利用者がいる。担当者任せになり日頃の業務で関わっていない。ケアマネとしてモニタリングは出来ているがスタッフと共有できていないところもある。利用者の変動が多く、追いつかない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
アセスメントやモニタリングという作業をしっかり確立し、本人のケアに役立てられるようにする。ミーティングに活用し、変化やサービス内容に変更があればその都度共有し更新していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成29年10月30日 (20:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー

高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎
村上・藤本・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	6			11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	2			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	6			11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	2			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	4			11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

契約時には出来るだけ昔の事から本人の生活については聞くようにしている。また何か変化があった時は家族や本人に以前の事などは聞いている。本人の想いを言語化し事務所に貼りだし、ミーティングで検討している。食事でも本人に合わせて形態を変え、塩分や水分も調整している。体調の変化時はすぐに報告し一人で判断しないようにしている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

引き続き、付箋での貼りだし方式を用いて、本人の情報や声にならない声を言語化して共有していく。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月30日 (20:00~20:30)
------------------	-----	----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎 村上・藤本・岩崎
---------------	------	-------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	0人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	7	4			11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	8	3			11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	7	3	1		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	9	2			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人のこれまでの生活スタイルや人間関係を会話の中で引き出し、訪問時に会いに来られていたらその時に関係を聞いたりしている。また、本人が住んでいる地域での行事や村用などは出来るだけ参加して頂いたり、地域の方にも「声をかけてあげてください」とお願いしている。また、ケアマネが民生委員や見守り台帳登録等の情報を紙ベースで作成し、本人の地域資源なども把握できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用の無い日や関わっていない時間は、本人がどのように過ごされているか、独居の方については分からない。本人にも聞くが定かではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成29年10月30日 (20:00~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎
村上・藤本・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	0人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7	4			11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	1			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	2			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	5			11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の行きつけの店と一緒に買い物に行ったり、店の方に「お肉や野菜も購入してもらえるよう声をかけてあげて下さい」とお願いしたり地域で支えて行けるよう支援している。また、宅食サービスや福祉サービスなども利用しながら支援している。また、本人の変化に気づき看護師やリハビリに診てもらったり、変化に合わせて、宿泊や訪問に切り替えたり、追加したり柔軟に対応している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成29年10月30日 (20:00~20:30)

6. 連携・協働

メンバー

高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎
村上・藤本・岩崎

◆ 前回

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	3人	5人	人	11人

前回の改善計画

ボランティアの方の訪問や子供たちも参加しやすいような行事の取り組みを企画していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

3事業所合同の感謝祭を行い地域の方やボランティアに参加してもらった。(6月) 地
 域の方が参加してもらえるような研修を実施している。(5月食中毒・栄養管理、7月認知症の理解と対応、10月権利擁護、2月AEDの使用)事業所としては出来ているが個人としては任せきりになっていたの出来ていない回答が多い。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	8	3			11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	8	3			11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	7	4			11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7	5			11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ケアマネや所長として会議には参加しており、会議内容をスタッフに情報共有して統一認識を図っている。また、会議には参加してはいるがスタッフとして福祉用具や訪問看護などはその都度情報を伝え、意見を述べ一緒に検討できている。地域のイベントにも参加、にこにこサロンにも参加して地域の方との交流も行えている。また、地域の方が百寿で使ってもらえないかと声を掛けに訪れて下さることも多くなった。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月30日 (20:00~20:30)
7. 運営	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎 村上・藤本・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	人	10人

前回の改善計画	地域への声掛けやボランティアの呼びかけをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方が参加されるのはまだまだ少ないが3事業所合同で色々取り組んでいる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	11				11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	3			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	4			11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8	3			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用アンケートを実施し、本人や家族の意見をスタッフで検討し改善できることは実施している。また、対応できない家族からの意見は、説明し理解を得られるように努めている。地域からの苦情は無いが、意見に対しては協力できるように3事業所でも検討している。また、地域から必要とされる拠点としては災害時の一時避難場所として協働した取組みを行えた。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p></p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p></p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月30日 (20:00~20:30)
------------------	-----	----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎 村上・藤本・岩崎
-----------------	------	-------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	2人	11人

前回の改善計画	業務の終わる前に、スタッフで1日を振り返り、「ヒヤリハット」したことが無かったか話し合う時間を設け連絡帳に記載し共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務終了前は送迎や排泄介助などで一緒に振り返る時間が持てなかった。各々「ヒヤリハット」したことはミーティングノートに記入するようにはしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10	1			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	1		2	11
③	地域連絡会に参加していますか	1			10	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5			11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
ケアマネとして事業所を訪れる際は、リスクが無いか意識し行動している。また気になればスタッフに伝えている。調理についての注意喚起等伝えている。施設内・外の研修には参加出来ているし、参加出来ないスタッフには伝達研修を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域連絡会がどんなものなのかすら知らない。 ケアマネが参加していたが知らなかった。 入職して間もないので今は現場になれる事を優先している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月30日 (20:00~20:30)
------------------	-----	----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・西尾・今西・松崎 村上・藤本・岩崎
--------------	------	-------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	2人	人3	人	11人

前回の改善計画	利用者が帰宅してから利用者の事を話すようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者が帰宅してから利用者の事を話すようにできている

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11				11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	8	3			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11				11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11				11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
身体拘束・虐待は行っていない。また、研修も行い認識を高めるとともに日頃からスタッフ同士で不適切なケアの段階から注意し合っている。個人情報もプライバシーも研修を行い知識を得て事業所内で遵守するよう取り組んでいる。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
どうしても狭い事業所で利用者フロアもオープンなので耳のいい方は聞こえているかもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

H30年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴 篠山市で百寿の郷を開設して、H30年で10周年を迎えます。田舎の田んぼの中に建っているが、見晴らしや日当たり、風通しも良く見学に来られた方も「気持ちの良い施設ですね」と言ってくださる。百寿の郷の一番の特徴は、畑を活用し野菜を育て収穫し食材として調理に利用することで、利用者の日課としての役割や、収穫の喜び、食事の楽しみをいろんな方に経験してもらう取り組みを行っていることである。また、個別ケアにも力を入れ、利用者の想いを実現できるよう、家族、CMとも連携し、ゴルフや外食（お寿司）等を企画している。同敷地内にあるデイサービスとグループホームの3事業所合同で、地域ふれあい祭り「福が百さくまつり」を開催、3事業所合同の職員研修も行っている。この研修も地域の方が参加できる研修になっており、法人理念である「地域に根差した介護事業所」を目指し、地域に開かれた事業所づくりに率先して取り組んでいる。 百寿の郷は、地域の中高生とのボランティア活動の受け入れなどの交流も図り、また自治会や民生委員、介護相談員の方にも小規模多機能型居宅介護を理解してもらえるように積極的に活動している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 百寿の郷	管理者	高平 佳代子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・担当制を活用し、各担当者が利用者の目標や何がしたいのかなどがいつでも見えるように貼り付け、またそのスペースに職員が気づいたこと、本人や家族から聞いた情報を提供し共有できるように付箋を貼り付け、すぐ記入できるような表を作成し実践する。	・事務所に表を作成し担当者ごとに振り分け一人ひとりの意見や思いを付箋で張り付けられるようにした。職員も見えることで情報把握と共有がしやすくなり、家族や本人の思いも見えることで個別ケアに反映出来てきた。しかし、まだ慣れていない分貼りだす内容は少ないが、これから定着させたい。	・職員の資格取得やスキルアップの為の研修に参加できていないのは物足りなさを感じているのでは。 ・昨年度から内部研修を職員の持ち回りで担当するようにしたが、担当者として事前に調べることでよりインプットされ理解しやすく、また説明することでアウトプットになり次に繋げることが出来るようになってきた。 ・率先して、個人的に外部研修も参加して来ている。（調理・高齢者虐待）	・利用者の「何がしたい」、「当面の目標」「本人の想い」「声にならない声」を言語化し、文字にして貼りだし「見える化」することで職員が情報を共有できるようになったので今後も引き続き実施する。また、貼りだすことを定着していく。 ・市の事務連絡会、地区福祉会議、県の集団指導、研修会等の参加で「地域連絡会」とみなされるようなので、所長だけでなく職員も参加していく。また、情報共有し職員全員が関わりを持っていく。
B. 事業所のしつらえ環境		・掲示物は利用者が見えやすいように、高さや大きさを考慮し展示している。 ・来訪者にも見てもらえるようにカラーで掲示。		
C. 事業所と地域のかかわり	・今年度に引き続き、地域の行事やイベントに出向いて百寿の郷を知ってもらうきっかけを作り、ボランティアの来訪も定期的に行う企画をしていく。	・地域のイベントにはたくさん参加が出来、今後の繋がりも出来てきた。 6月…3事業所合同感謝祭。10月…畑まつり、篠山東中学校文化祭参加（展示もさせてもらう） 11月…畑地区収穫祭（展示もさせてもらう） 12月…篠山東中学校の生徒によるボランティア活動（内容は生徒が考案）。 「医療と介護の連携（この指とまれ）」「城東支部民生委員視察」「認知症セミナー」などにも参加し、小規模の説明をする事で、他職種・地域の方にも百寿の郷を知ってもらえる機会が多く持てた。また、イベントにて作品展示・広報・チラシ・パンフレットも置かせていただくことで百寿の郷を知ってもらえる機会も増えた。	・地域からの相談はあるか…の質問に関しては、直接地域の方が相談に来られることはない。もし相談に来られても一番手前にある同法人のデイサービスに相談に行かれる。 また、相談事は直接民生委員か市・包括へ相談される。 ・相談に来てもらえるように、広報配布時には自治会長へ声掛けしている。 ・地域のボランティアからは参加可能かの問い合わせは増えてきた。	・今年度も引き続き地域に出向いての行事企画をしていく。また、所長だけでなくスタッフが地域との橋渡しや仲介役になり企画をして進めて行けるように役割を作っていく、担当に任せていく。 ・地域のイベントや行事に参加した際、展示もさせて頂き、作品だけでなく「百寿の郷」を知ってもらえるようなものを作っていく。行事年間計画の中に展示に向けての作品作りを盛り込む。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加の行事（8月、12月）は継続して行う。「家族会」を年1回行う（H30年2月予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加型の行事を企画し参加してもらえようように声掛けしている。6月…3事業所合同感謝祭。12月クリスマス会 9月…家族会を行う事が出来、4名の参加があり好評であった。他の家族の悩みを聞いて、「自分の所だけじゃないんだ」と安心感が持て、悩んでいる事を話す事で「気持ちが楽になった」という意見が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族もどんなものを食べているか分からないので文字でメニューだけ書いてあっても分かりにくい。写真や現物で見るのが一番いい。 ・担当者会議を行っているがそのメンバーに地域の方も参加して頂いている。 ・ご近所の心配な方に事業所は関わっているか…に対しては、個人情報・プライバシーもあるので情報が無い限り関われない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加型の行事を行う。「6月…3事業所感謝祭・12月…クリスマス会」。 ・家族会を1回は行う（8月） ・百寿での食事がどんなものなのか見てもらえるような企画をする（家族・地域の方・CM・運営推進委員・介護相談員・民生委員に向けて） ・食事でも分かりやすいように広報で載せていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に1年間の目標、計画を話し合い、目的を持った運営推進会議が行えるように充実を図る。 ・また、前回の改善計画であった他事業所の運営推進会議の内容を発表することを計画に盛り込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では毎回委員の方から活発な意見も出ており、行事の事や地域との関わりについての意見は事業所としても参考になり運営面でも反映している。年初めには、年間計画・目標として話し合い、委員の方から出た意見も盛り込んだ。 ・委員の方から出た、事例検討や他事業所の運営推進会議内容を聞きたいとの意見、報告も実施する事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりについて、百寿の郷が所在の地域との関わりなのか、利用者が住まわれている地域との関わりなのか…また、波々伯部地区・城東地区・日置地区・まち協単位の地域なのか… 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も運営推進会議で、利用者の事例検討や、他事業所の会議の内容を報告など年間計画に盛り込む。 ・運営推進会議で地域の独居利用者に対しての関わりも検討していけるよう、行事への参加や、音楽療法への参加など運営推進委員の方からも声掛けして頂けるよう情報を伝えていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度防災訓練は、運営推進会議の後にい見学していただくようにする。（8月予定） ・運営推進会議で事業所の防災計画を説明し意見を反映してゆく ・家族に災害時の時どうするか、見守り台帳の情報を伝え、必要に応じて登録を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災訓練としては年2回行っており、内1回は運営推進委員の方にも見学してもらえようように運営推進会議終了後に見学して頂けるように行った（1月24日） ・防災訓練に関しては、畑地区や日置地区の防災訓練に参加したり、一時避難場所の検討や必要物品の貸し出し等検討している。 ・CMから家族には見守り台帳の説明は行っている。また、事業所としても台風前など、災害の危険がある時は独居で生活されている家族にもどのような支援をするか伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に関しては、法人としても事業所としても火災時、水害時・地震時等災害によって避難も変わってくるが、消防からも非難より、連絡のやり取りや連携が大事なので通報訓練を重視して訓練を行った方がよいとの意見あり。指定避難所と一時避難所などもあり、その部分も再度理解を深めておく方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の後に防災訓練を行い見学して頂けるように計画する（8月・2月） ・今後も地域の防災訓練に参加し協働を図れるように取り組む。